

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START)
プロジェクト推進型

ビジネスモデル検証支援

公募説明会資料

令和 5年 3月 8日

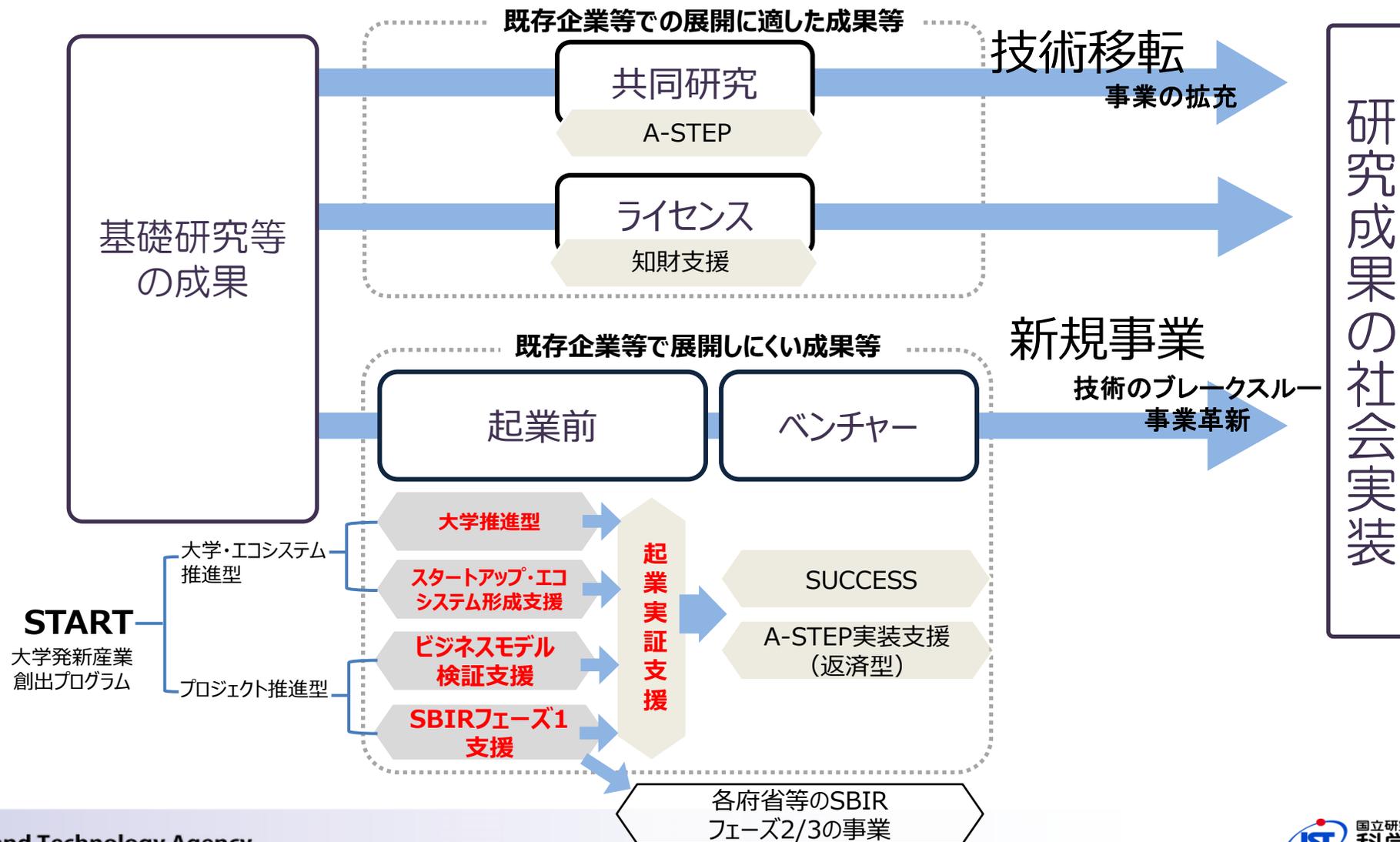


科学技術振興機構

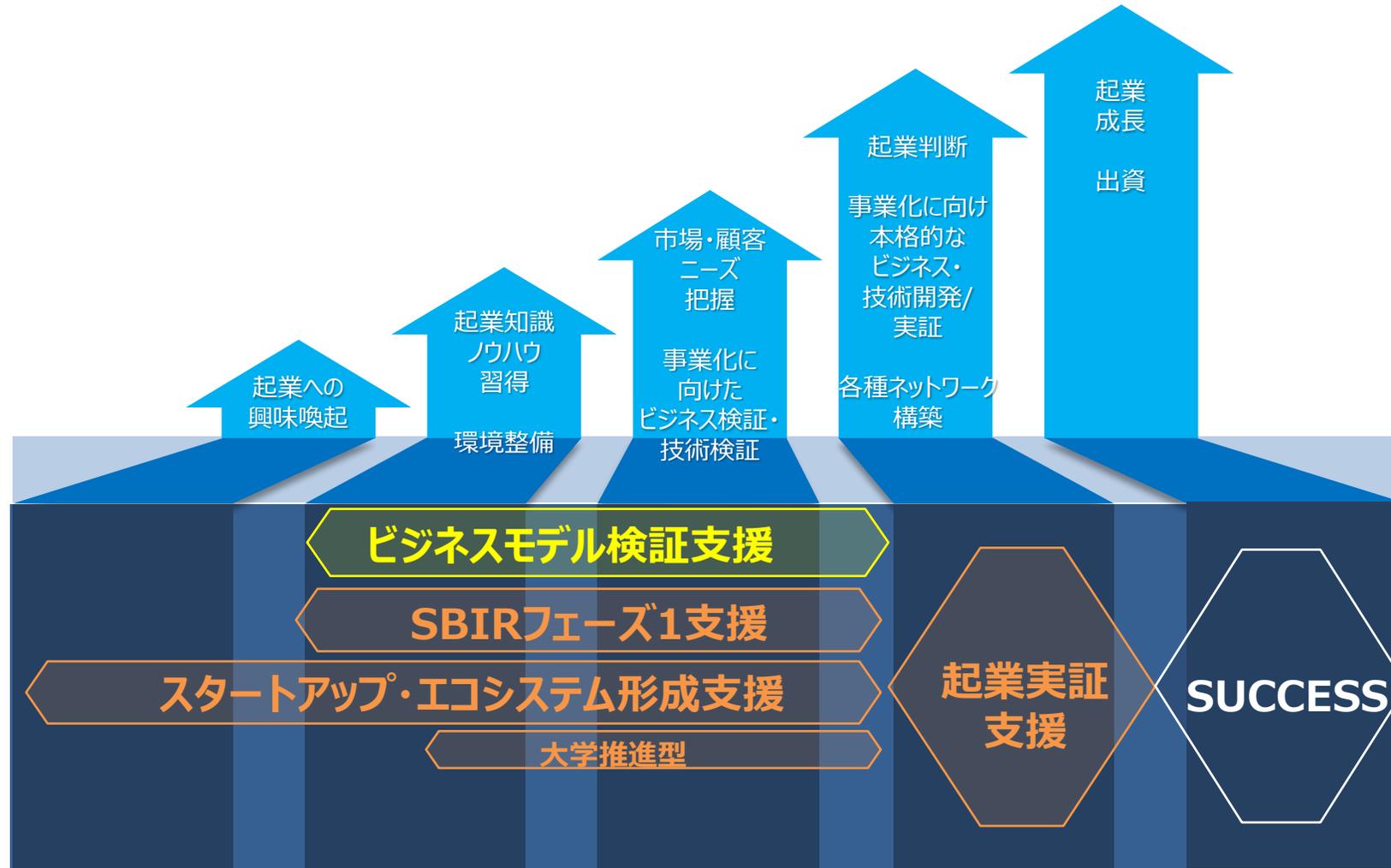
(産学連携展開部START事業グループ)

JST 産学連携事業の紹介

大学等から社会実装を進める主な3つのルート



JST関連のスタートアップ支援事業の位置づけ

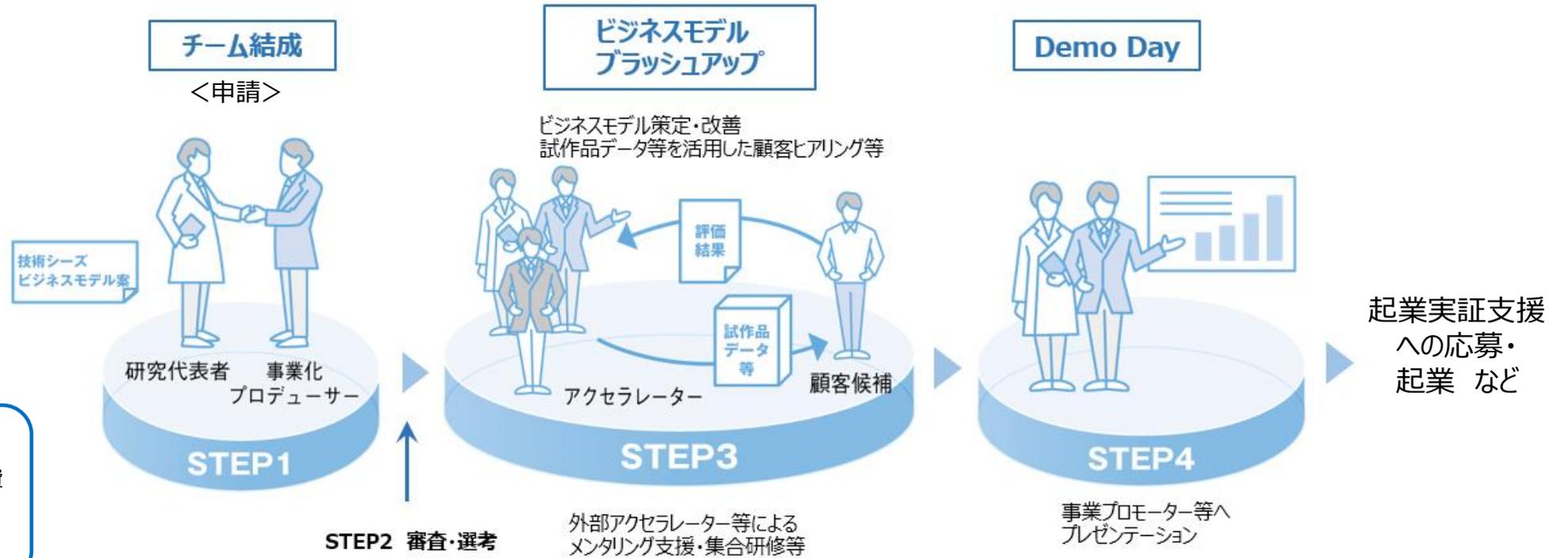


プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援

起業の可能性検証

概要

大学等の優れた技術シーズ等の社会還元を加速、充実させるため、研究者やアントレプレナー候補者にリーンスタートアップ手法等の起業に係る実践的な学びを支援します。出資獲得等につながる、成長力のあるベンチャー創出を促進するため、顧客ヒアリング等の実践を通してビジネスモデル仮説を高度化、現実化（ブラッシュアップ）していきます。



活動費の使用イメージ

- ・顧客ヒアリングのための旅費
- ・市場調査費
- ・競合技術・知財調査費
- ・技術検証のための費用

- ①活動実施期間：単年度
- ②活動経費：500万円（直接経費）
- ③対象分野：ビジネスモデル検証や顧客ヒアリング等が可能な技術分野全般

事業化プロデューサー
研究代表者の技術を元にした事業化の展開において、ビジネスモデル仮説の立案および検証等の活動を中心的に行う者。
学内外を問わず、研究代表者と二人三脚の協業で活動を行える者。

2023年度公募 申請締切：5月10日（水）正午

参画者

研究代表者

- ・自らの技術シーズの社会還元をビジネスモデル検証支援の支援で事業育成を加速することを望む者。
- ・ビジネスモデル検証支援の活動期間中に事業育成に係る技術検証に取り組むと共に、実践的学習や仮説検証活動を通してビジネスモデルの現実化・高度化に取り組む者。

【要件等】

- ・技術シーズを有する者であること。技術シーズが特許の場合は、その発明者、もしくは発明に関わった者であること。
- ・国内の大学等の研究機関に所属して当該研究機関において研究開発を実施する体制を取ること。
- ・事業化プロデューサーと協働で活動できること。

事業化プロデューサー

- ・研究代表者の技術を基にした起業化の展開において、ビジネスモデル仮説の立案および検証の活動を中心的に行う者。

【要件等】

- ・本事業の全活動に主体的参加が可能で、ビジネスモデルの仮説立案および検証等の活動を中心的に行うためのエフォートを十分に確保することができること。また、本成果にて起業を行う際にも参画する意思、関心を有していること。
- ・研究代表者と協働で活動できること。研究代表者の技術を基にした起業化の展開に興味を持つ者であること。ビジネスモデル仮説の立案および検証の活動に主体的に意欲を持って取り組む者であればよく、学生も可能とする。

事業化プロデューサーの事例

- ・設立するベンチャーの経営者候補
- ・事業化経験がある者（民間企業従事者、個人事業主 等）
- ・研究機関の産学連携担当部門の職員（URA等）
- ・学生（博士課程、修士課程、学部4年生）
- ・研究代表者の兼務 等々

スケジュールイメージ



※上記は実施予定日程（変更となる場合もあります）

<参考> 2020年度の集合研修内容

	時間	講義内容
集合研修①	各回 3時間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・検証すべき仮説の明確化 (顧客課題の発見・テクノロジーマーケットフィット) ・仮説検証方法の検討
集合研修②		<ul style="list-style-type: none"> ・仮説検証に必須のMVP設計/MVP作成のワーク
集合研修③		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン・内発的動機・チームアップの重要性 ・ビジネスモデルの検討と構築
集合研修④		<ul style="list-style-type: none"> ・ピボットの考え方 (重要性と実施方法) ・ピッチのスキル
集合研修⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書講座 ・VCとの付き合い方 (VCとは、融資か投資か)
集合研修⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・資本政策の考え方 ・ピッチ練習

※運営受託機関と調整するため、講義内容は毎年度変更の可能性あります。

採択実績

(2022年7月現在)

申請件数と採択件数

	申請数	採択数	採択率
2017年度	23	16	70 %
2018年度	35	17	49 %
2019年度	27	17	63 %
2020年度	35	19	54 %
2021年度	19	8	42 %
2022年度	21	8	38 %
合計	160	85	53 %

実績（1）起業実証支援への採択事例

採択年度	プロジェクト名	研究代表者	事業プロモーター
2018年度	竹の解繊・ナノ化技術によるCNFの開発 ※起業実証支援実施後に起業「株式会社おおいたCELEENA」	大分大学 准教授 衣本 太郎	QBキャピタル
2018年度	変形性膝関節症を対象とした骨髄間葉系幹細胞の磁気ターゲティングによる軟骨再生治療の事業化 ※起業実証支援実施後に起業「株式会社Flying Cell」	広島大学 准教授 亀井 直輔	Beyond Next Ventures
2019年度	組合せ爆発を計算可能な小さなAI「fineOptimAI」の事業化 ※起業実証支援実施後に起業「株式会社fineOptimAI」	大阪工業大学 准教授 平嶋 洋一	QBキャピタル
2020年度	産業用ロボットの生産性向上を実現する球駆動式全方向移動装置技術の事業化	九州工業大学 准教授 宮本 弘之	FFGベンチャービジネスパートナーズ
2020年度	急性胆嚢炎の治療を革新するドレナージキットの開発と事業化	東北大学 准教授 宮本 浩一郎	Beyond Next Ventures
2020年度	プラスチック製容器包装廃棄物の高度選別装置の事業化	芝浦工業大学 教授 田邊 匡生	QBキャピタル
2021年度	宇宙産業で安全に使用できる静電気検知技術の開発	大阪府立大学 准教授 高橋 和	ANRI
2022年度	リキッド・バイオプシー生体予測診断サービス“AIビーフ”の事業化	近畿大学 教授 松本 和也	インキュベイトファンド

※採択時の所属・役職名 ※2017-2021年度ビジネスモデル検証支援採択総数77件

実績（２）設立ベンチャー

会社名	設立	研究機関
株式会社Genics	2018.4	早稲田大学
株式会社グリーンエース	2018.9	東京農工大学
WillBooster 株式会社	2018.12	国立情報学研究所
オステレナト株式会社	2019.1	東北大学
株式会社ゲルテクリサーチ	2019.7	広島大学
株式会社フォトニック・エッジ	2019.7	岐阜大学
株式会社ナーステックラボ	2019.8	自治医科大学
株式会社396バイオ	2019.8	静岡県立大学
プラチナバイオ株式会社	2019.8	広島大学
株式会社ソニックアーク	2020.2	立命館大学
サウンド株式会社	2020.4	九州大学
株式会社リンクバイオ	2020.5	東京大学
株式会社ポットスチル	2020.8	名古屋大学
BFACT株式会社	2020.11	名古屋大学
株式会社Vetanic	2021.1	日本大学
エアデックmini株式会社	2021.2	東京農工大学
株式会社エマルションフローテクノロジーズ	2021.4	日本原子力研究開発機構
BRIファーマ株式会社	2021.5	東北大学
HILO株式会社	2021.8	北海道大学
株式会社GENODAS	2021.12	東北大学
株式会社Extend	2022.7	産業技術総合研究所
株式会社P&A	2022.12	崇城大学

現時点で**22社29%**が起業

※研究機関は、採択時の研究代表者の 所属機関
 ※2017-2021年度採択総数77件

2022年度採択課題一覧（8件）

2021年度以前の採択課題：

<https://www.jst.go.jp/start/biz-model/project2022.html>

科学技術振興機構報 第1568号 <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1568/index.html>

研究開発課題名	研究代表者
世界最小口径の異種脱細胞化血管の事業化検証	国立循環器病研究センター 研究所 部長 山岡 哲二
ナノカーボンを用いたロバスト性逆浸透（RO）膜技術の事業化検証	信州大学 工学部 准教授 竹内 健司
オンチップ液体クロマトグラフィーとAIを用いた汗中代謝分子分析の事業化	東京大学 大学院薬学系研究科 准教授 角田 誠
空中超音波を用いた触覚提示技術の事業化検証	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任助教 神垣 貴晶
発電菌を利用した植物電池を電源とする エネルギー自給自足型IoTデバイスの事業化検証	東京農工大学 大学院工学研究院 助教 沖田 尚久
クルマエビ抗体様蛋白質Dscamを用いた診断法・治療法の事業化検証	長崎大学 熱帯医学研究所 准教授 久保 嘉直
超高速高解像4Dイメージング顕微鏡技術の事業化検証	広島大学 大学院統合生命科学研究科 准教授 杉 拓磨
ヒト in vitro 血液脳関門(BBB)モデルkit の事業化検証	山口大学 医学部／大学院医学系研究科 研究代表／助教 竹下 幸男

選考の観点

公募要領25ページより

(1) 技術シーズ

- ・独創性、新規性を有しているか。
- ・技術シーズに関わる知的財産の権利が明確で、事業に支障が無いか。

(2) ビジネスモデル仮説、及び、ビジネスモデル仮説の検証活動

- ・ビジネスモデル仮説が検討できているか。
- ・顧客候補への検証活動で明らかにしたいビジネス仮説が明確に設定できているか。
- ・活動スケジュールが妥当か。
- ・ビジネスモデルの実現性や成長性が期待できるか。

(3) 活動の推進体制、参加者

- ・活動に向けて適切な体制となっているか。
- ・ベンチャー起業に対する熱意を有しているか。

(4) 利益相反、他資金との切り分け、エフォート確保等に関する検討状況

- ・活動に参画する者と関係者との利益相反に関して適切に整理され、マネジメント方策を構築しているか。

申請書

- ・研究代表者により、e-Radにより提出
- ・3つのファイルをPDF形式で1つのファイルに結合し、サイズは合計30 MB以下としてください。

<p>申請様式1 申請書 (A4・12枚を目安)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題名 2. 本事業での活動概要 3. 研究代表者の連絡先情報 4. 技術分野 5. 技術シーズの内容 6. ビジネスモデル仮説の概要 7. 事業化に向けた検証活動の概要 8. ベンチャー起業に係るモチベーション、経験について 9. 活動の推進体制 10. 研究代表者、事業化プロデューサー、主たる共同研究開発者の専門分野、研究開発経歴等がわかる略歴 11. 利益相反マネジメントに関する検討 12. 他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む） 	 <p>e-Rad 提出</p>
<p>申請様式2 予算計画</p>	<p>予算計画 (①物品費、②人件費・謝金、③旅費、④その他)</p>	 
<p>申請様式3 申請書補足説明資料 (スライド8枚以内)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術シーズ概要 2. 課題、課題解決のためのプロダクト/サービス 3. 「チーム構成」と「ビジョン」 	

2023年度公募 申請締切：5月10日（水）正午

チームメンバーの留意点

事業化プロデューサー等、研究代表者の所属機関でない参加者（民間企業所属等）がいる場合
⇒**委託研究契約等で規定される事項（守秘義務等）を遵守していただくために、研究代表者の所属機関が同意書を得るなど対応し、活動を管理していただく必要があります。**

- ・公募要領 3.7 その他留意事項
- ・委託研究事務処理説明書（共通版）、14ページ

他機関に所属する研究者等や雇用関係のない学生が本研究に従事する場合の対応

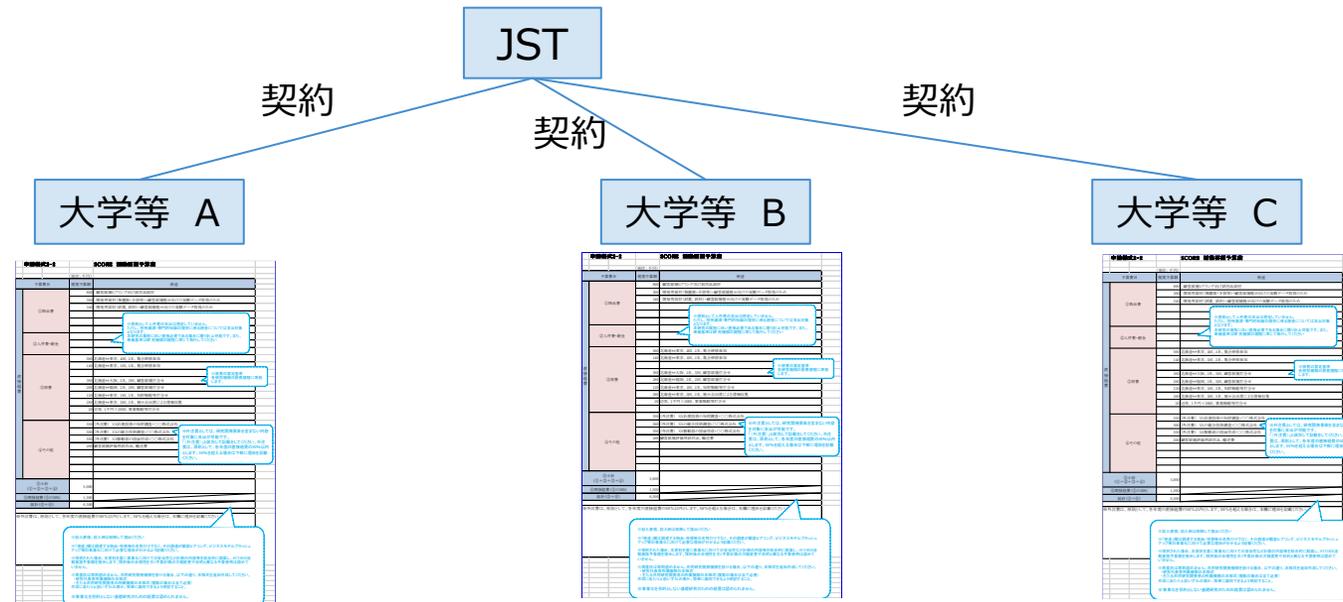
他機関に所属する研究者等や本研究に係る雇用関係のない学生を本研究に従事させる場合は、委託研究契約等で規定される事項（知的財産権の帰属、各種報告・申請義務、守秘義務等）が遵守されるよう同意書を得るなど適切に対応してください。

特に本研究に係る雇用関係のない学生が研究参加者となる場合は、当該学生が発明者となり得ないことが明らかな場合を除き、本研究の実施の過程で当該学生が行った発明（考案等含む）に係る知的財産権が研究機関に帰属するよう、あらかじめ当該学生と契約を締結する等の必要な措置を講じておく必要があります。また、知的財産権の承継の対価に関する条件等について、発明者となる学生に不利益が生じないよう配慮した対応を行うこととしてください。

申請様式2の補足 -主たる共同研究開発者を設ける場合 -

-主たる共同研究開発者を設ける場合 - (公募要領34ページ)

研究代表者の所属機関 A と異なる国内の大学等の研究機関 B が研究開発費の執行が認められる場合、JST と研究機関 B が委託契約を直接締結します。研究機関 B における責任者を「主たる共同研究開発者」とします。(研究開発要素が含まれる外注は不可)



「申請様式2 予算計画」は大学等の研究機関※ごとに作成

(※国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関法人、独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、地方独立行政法人等のいずれかに該当する機関)

ビジネスモデル検証支援 公募情報ページ

<https://www.jst.go.jp/start/biz-model/call2023.html>

① START トップページ

<https://www.jst.go.jp/start/>

研究開発推進事業 大学発新産業創出プログラム

START

事業概要 ▾ 公募情報 ▾ 採択プロジェクト ▾ 設立ベンチャー ▾ 各種手続き ▾ パンフレット お問い合わせ

JSTトップ > START

大学等の「知」が社会で活用される
日本型イノベーション・エコシステムの
確立を目指して

NEWS

プロジェクト推進型

ビジネスモデル検証支援 募集

2023年2月17日
2023年度 大学発新産業創出プログラム(START) プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援の公募を開始しました。(公募開始)

SBIRフェーズ1支援 お知らせ

2023年1月25日
2022年度 SBIRフェーズ1支援 成果発表会を2023年2月27日(月)に開催します。参加申し込みの受付を開始しました。

大学・エコシステム推進型

大学推進型 成果

2023年2月20日
大学推進型の成果をもとに「BioPhenolics株式会社」が設立されました。
(課題名：芳香族化成品原料のバイオ生産技術の開発と事業化・研究代表者：高谷 直樹(筑波大学))

拠点都市環境整備型 成果

② 公募情報ページ

公募情報

プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援

2023年度募集のご案内

2023年度の公募を開始しました。

	日程	備考
申請締切	2023年5月10日(水) 正午	
活動開始(予定)	2023年8月頃	

公募要領・申請書類のダウンロード

書類名	容量
公募要領全文(PDF)	5.6MB
申請書類(一式)	199KB

公募説明会

以下のとおり、オンラインによる公募説明会を開催します。

公募・問い合わせ先

〒102-0076
東京都千代田区五番町7 K's五番町

国立研究開発法人 科学技術振興機構
産学連携展開部 START事業グループ

E-mail : <ビジネスモデル検証支援に関するお問い合わせ>
start-score@jst.go.jp

- ・ JSTホームページ : <https://www.jst.go.jp/>
- ・ STARTホームページ : <https://www.jst.go.jp/start/>

ご質問について

ご質問のある方は、ウェビナーのQ&Aにご入力をお願いします。

A screenshot of the Q&A input form. It features a text input field with the placeholder text '質問をここに入力してください...'. Below the input field, there is a checkbox labeled '匿名で送信' and two buttons: 'キャンセル' and '送信'.